第4回 技術講演会・出展技術発表会を開催しました。 (平成28年9月7日)

関東技術事務所では、建設技術展示館において、技術者に向けた建設技術に関する情報提供を継続して実施しております。その一環として「第4回技術講演会・出展技術発表会」をさいたま新都心合同庁舎1号館 2F講堂にて開催しました。2日目は、台風13号の接近に伴う影響で中止となりましたが、1日目は181名という多数の方々のご参加を頂きました。

主催者を代表して、関東技術事務所の所長挨拶の後、公益財団法人河川財団 河川総合研究所 吉田技術参与による「河川の維持管理(点検等)における新たな計測技術の活用」、と題したご 講演を頂きました。

技術講演会の後は、出展技術発表会で出展者により8技術が紹介されました。

1 日 時 : 平成28年9月7日(水)13:00~17:10

2 場 所 : さいたま新都心合同庁舎 1 号館 2 F 講堂

3 参加者 : 181名



主催者挨拶

要旨:

主に建設技術者の方々を対象として、建設技術や建設技術の開発・活用の取り組みについて情報を提供して、公共工事に係る技術者の知識の習得及び技術の普及を図ることを目的として開催。



出展技術発表会の様子



1日目 技術講演会

要旨:

- ①河川の維持管理の目的とその背景を概説し、近年の河川の維持管理に 関する動向
- ②河川法における維持管理の位置づけと課題
- ③現状の河川管理施設等の点検・評価及び今後の維持管理における展望を紹介

1日目 会場の様子

機械設備の 維持管理について

三重大学 大学院 生物資源学研究科 共生環境学専攻

陳山 教授

2日目 技術講演会

要旨:

- ①機械設備に関する維持管理の概要 及び設備診断の必要性
- ②設備診断において必要となる振動 計測・信号処理・簡易診断・精密診断 寿命予測・知的診断について概説
- ③土木機械設備保全技術の紹介

台風13号の 接近に伴う 影響で中止

出展技術発表会の内容

今回の出展技術発表会のテーマは、「土工、地盤改良、情報化施工」で、第1日目は8技術、 第2日目は12技術についての発表が行われました。

【1日目】

発表 技術 名「副題」	NETIS登録№.	出 展 者 名
仮締切内部の安全管理システム		鹿島建設 株式会社
河川内工事における仮締切内部(ドライワーク)の安全を確保する技術		
ポンテランエ法	TH-020042-V	ボンテラン工法研究会
泥土リサイクル技術		
FTマッドキラー工法	CB-010011-V	株式会社 フジタ
瞬時に「どろどろの土」を「良質な土」に変える技術		
万能土質改良機による建設発生土再利用システム	KK-980012-VE	株式会社 オクノコトー
不良土を混合し使える土にする技術		
地中控え護岸工法	KT-980128-V	TRD工法協会
TRD工法を用いた多自然型低水護岸工法		
ジオシェルトン	QS-140008-A	三井化学産資 株式会社
ジオグリッドを用いて護岸を保護する技術		
ブランチブロック工法	CG-050005-V	株式会社 高環境エンジニアリング (ブランチブロックエ法協会 事務局)
自然環境に配慮した河川護岸などを構築する技術		
河川堤防用ドレーンエ「ドレーンロックFR型」	KK-050126-V	共和ハーモテック 株式会社
河川堤防内に浸透した水を排水する技術		

【2日目】

発表技術名「 副題」	NETIS登録№.	出 展 者 名
河川用揚排水ポンプ		一般社団法人
排水ポンプ車に搭載する超軽量水中ポンプ		河川ポンプ施設技術協会
ビーシージョイントRE-2型	HK-120009A	西武ポリマ化成 株式会社
既設コンクリート構造物の後付式ゴム伸縮継手		
ハットブロック	KT-070023-V	
オールガードパネル		共和コンクリート工業 株式会社
ドラゴンドレーン		_ 60 =
DRウォール		一
浸透対策ドレーンエ用の法留の末堤脚水路工	I	口建工子 休式云社
オーバーリンクゲート	1000	
門柱を不要にしたゲート開閉技術	T 1= 10€0 /E	旭イノベックス 株式会社
オートゲート	TIL 000145 V	旭1ノヘックス 休氏去社
無動力で自動的にゲートを開閉する技術	TH-990145-V	
インプラント堤防		株式会社 技研製作所
鋼管杭および鋼矢板による粘り強い堤防		休式云社 技研器FM
プレキャスト高潮堤防護岸工法	CB-100008-A	丸栄コンクリート工業 株式会社
高潮堤防護岸をプレキャスト化した技術		
プレキャスト基礎エ「ベースブロック」	CB-990024-V	
護岸法覆工の基礎をプレキャスト化した技術		
C3Dによる極浅水域での3次元測深技術システム	KT-090015-V	株式会社 アーク・ジオ・サポート
水中状況を3次元で計測・測深する技術		